

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

調評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

ゆったりとした雰囲気の中、ソファーに座り利用者同士で話をしながら手のほうは動いている。毛糸のソックスがどんどん出てくる。見ているだけでも楽しい。その輪が利用者にも広がり、いい影響を及ぼしているように感じられる。

散歩には事欠かぬ環境で自然がいっぱい。今日は近所の最上稲荷神社まで散歩に出かけ、通りすがりの人と話をしたり、犬の散歩をしている方も親しい関係にある様子が伺えた。利用者が自分自身で自分らしさを表現できる自由さ、開放感はこのホームのうれしい点である。

身体的機能を維持していただくための利用者への働きかけを今後の課題として前向きに取り組まれている。

特に改善の余地があると思われる点 次のような提案をした

記録面で一工夫が欲しい。職員間のケアの質の向上では疑問点、困った点を同じ土俵で検討できるノートの活用。ケアプラン作成に当たりアセスメントの方法の統一。本人家族の意向の掘り出しの工夫。

家族への情報として便りの発行。家族との関係を蜜とする糸口に。

食事について独自メニューが月3から4回あるが、カロリーをも考慮してセンターミールを利用しているが、何か利用者主体で行える食事作り、おやつ作りも考えたいかがでしょうか。

通所介護サービスが併設されているので、共に良い面を活用しあって地域との広がり、利用者間の広がりを持てることを期待したい。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<p>食事の配膳、下膳は車椅子の利用者も全員が工夫しながら自分の出来ることを自分の仕事として行っている。趣味の編み物をする利用者も習って、他の利用者もやってみようという気持ちになって輪が広がり、出来る実感を味わっている。出来た作品をバザーに出すそうだ。おそらく未経験だろうと思われる人も折り紙を折ったり、それを貼ったりして出来る能力を引き出している。</p> <p>トイレ、洗面が自室に備えてあり、プライバシーの配慮はできている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	<p>外部研修も積極的に受けられて、またあるグループホームとも交流する予定で、職員の交互研修を期待している。管理者職員共に自由に意見が言える雰囲気があり、利用者の笑顔を引き出そうとチームワークが出来ている。デイサービスが隣接してある好条件を利用して、共に情報を提供したり、地域住民としての立場をとり、老人会や幼稚園児との交流が進むと嬉しい。</p>		

事業所名 グループホーム 明日香

日付 平成18年3月31日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験11年

評価調査員 老人保健施設介護実務経験5年、
居宅支援事業所介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か</p> <p>玄関に「笑いとそが百薬の長」と額に掲げられた言葉通り、利用者はやりたいこと、言いたいことを告げながら毎日を過ごしているのであろうと感じさせられるものがある。生活のリズムを崩すことのないように配慮しながら、利用者本位の立場から、残存能力が維持できるよう体操をしたり、豊かな自然の中を散歩したり、思い思いの時を過ごしている。その雰囲気、利用者の表情が穏やかで伸びやかである。</p>		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か</p> <p>利用者のペースで生活スタイルを継続し、今までの趣味を生かして満足な自分を作り出すことに力を入れようとして取り組んでいる。生活リズムをある程度保ちながら、体操をしたり、散歩をしたり疲れると休む時間も取り入れ、家での自由さが感じさせられる。欲を言えばもう一歩踏み込んで利用者の思いを表現できると、より張りりと活気溢れるホーム作りになるかと思う。</p>		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		